

令和 6 年度

第 2 回 住民座談会について(報告)

作成：社会福祉法人 今治市社会福祉協議会

検討テーマ：『地域の課題について』

1.課題の整理

人口構造の変化とそれに伴う影響

高齢者の増加とそれに伴う独居高齢者の増加、老々介護、引きこもりが深刻化しています。

若い世代や子どもの減少、人口減少、人口流出が地域の活力を低下させ、地域の将来や担い手不足に直結しています。

独身者が多く、世帯構成が把握しにくいという課題も挙がっています。

地域コミュニティと人間関係の希薄化

ご近所づきあいの希薄化が多く挙げられており、住民間の交流機会の減少、孤立が懸念されています。

特にマンション住民や新しく転入してきた住民と既存住民との交流不足が問題とされています。

世代間交流の機会も減少しており、地域全体での支え合いの基盤が弱まっています

交通と移動手段の不便さ

移動手段の不足と交通の便の悪さは住民の日常生活における大きな問題であり、特に車を運転できない高齢者にとって買い物や通院が困難になっています。

バス路線や便数の減少、狭い道路や歩道の不足、街灯の少なさも住民の生活や安全に影響を与えています。

橋の通行料が高いという意見も挙がっています。

買い物と店舗の減少

食料品店やスーパー、その他店舗の減少や閉鎖により、買い物が不便になっている地域が多く、高齢者を中心に買い物難民という課題に直面しています。

食事やお茶をする店が少ないことも地域の活気低下につながっています。

空き家と耕作放棄地の増加

空き家や荒れた土地・畑の増加が顕著であり、景観の悪化、防犯上の問題、さらには有効活用されていない資産という側面で課題となっています。

耕作放棄地も同様に増加しており、農業の衰退と関連しています。

地域活動の停滞と担い手不足

地域活動への参加者の減少、行事の中止や縮小、役員やボランティアの担い手不足が深刻です。

自治会への加入率の低下や、一部のメンバーに負担が集中する役員の重複が問題視されています。

伝統文化の継承も困難になっています。

福祉・医療・介護サービスの課題

高齢者の生活課題（見守り、話し相手、買い物・通院支援）への対応が必要な状況となっています。

病院や介護施設が少ない、または遠いこと、福祉サービスが不十分であることが問題です。福祉人材の不足も指摘されています。

子どもや子育て世代へのサポート不足も一部で課題となっています（子どもの遊び場、子育て世代の交流の場、不登校児の居場所など）。

環境・防災・安全の問題

ゴミの分別問題、ポイ捨て、収集場所の不便さ、河川や海岸のゴミなど環境美化の課題が散見されます。

野生動物の増加による農作物被害も深刻です。

防災への備え、特に水害や津波への不安、通学路の安全確保、夜間の防犯対策も課題です。

外国人住民との共生

外国人住民の増加に伴う異文化交流の難しさ、言葉の壁、地域へのなじみ度が課題として挙げられています。

外国人コミュニティとの分断も懸念されています。

経済・産業・仕事

働く場所がないという課題も挙げられており、若者の定住を妨げる要因となっています。

物価高騰や地域産業の衰退も課題です。

2.課題の傾向分析

今回の住民座談会では今治市は少子高齢化を背景とした地域機能が少しずつ弱くなっており、「人々のつながりの喪失」が、移動、買い物、地域活動といった課題を深刻化していると思われます。各問題は複雑に絡み合って地域全体の活力を低下させている状況と考えます。

検討テーマ：『地域の強みについて』

1.地域の強みについて整理

温かい人間関係と活発な地域コミュニティ

挨拶が活発で、挨拶を返してくれる温かい雰囲気があります。

人々のつながりが強く、ご近所付き合いが深く、互いに顔見知りであり、困っている人には助けの手が差し伸べられる「人情味」や「助け合い精神」が根付いています。家族構成や事情を互いに知っていることも強みです。

世代間交流が活発で、子どもから高齢者まで多様な人が交流できる機会や場が多く存在します。

地域活動やイベントが盛んで、運動会、文化祭、祭りなど多様な行事が継続して行われ、多くの住民が協力的に参加します。特に、女性会や老人会の活動が活発です。

ボランティア精神があり、多くの協力者や熱心なリーダーが存在し、地域の問題解決に積極的に取り組まれています。

移住者や外国人への受容性が高いことも挙げられ、異文化交流への関心も高まっています。

豊かな自然環境と美しい景観

水と緑が豊かで、美味しい水やきれいな空気に恵まれています。

海や山に囲まれた美しい景観が魅力で、しまなみ海道などの観光資源も豊富です。

季節ごとの花（河津桜・水仙）や夕日の美しさも挙げられています。

充実した生活インフラと利便性

交通アクセスは、主要道路、橋（しまなみ海道）、JR 駅、バス・船の乗り場が近く、車があれば移動が便利です。コミュニティバス「モビ」の運行も強みです。

商業施設が充実しており、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、飲食店が多く、買い物に便利です。マルシェも開催され賑わっています。

公共施設や医療・福祉サービスが整っており、病院、学校、保育園、児童館、公民館、消防署、金融機関、介護施設などが揃っています。特に、多くのサロンや子育て支援施設が存在します。

区画が整理され、安全性が高い地域であるという意見もありました。

災害に強い安心・安全な地域

災害が少なく、気候的に安全な地域であるという認識があります。

防災意識が高く、防災士も多く、小中学校を中心とした防災訓練がしっかり行われています。

治安が良いという意見が多く、防犯灯の普及も進んでいます。

地域の文化・歴史遺産と継承活動

独自の伝統行事（祭り、継獅子、お供馬、盆踊りなど）や文化（お遍路、お接待）が数多く残り、継承に努めています。

古墳や歴史的文化財が豊富に存在し、地域愛とともに大切にされています。

今治城やかかわら館など、歴史や文化をアピールできる施設やイベントがあります。

経済・産業と雇用の機会

造船・海運業が盛んで、多くの雇用機会を提供しています。

農業、漁業など地元の産業も強みとして挙げられています。美味しい農作物や魚介類が豊富です。

FC 今治など地域を活性化させる要素があり、観光業への期待も高いです。

教育・子育て環境の充実

保育園から高校まで一貫した教育機関が地域内に揃い、学校が地域活動に協力的です。

子どもたちが元気で挨拶がよく、地域住民による見守り活動も活発です。

児童館や子育て支援センターが複数あり、子育てしやすい環境が整っています。

人口構成の活力と多様性

高齢者が若く明るく元気で、筋力トレーニングやグラウンドゴルフなどで活動的です。

移住者も増え、多様な地域からの流入があります。

外国人住民も増え、国際色豊かな地域として多様性を受け入れる土壌があります。

2.地域の強みについての傾向分析

住民の方は地域への愛着心があり、自らの手で地域を守り、発展させようとする意欲もあるように思います。また地域の強み（自然、文化、インフラ、経済）をさらに活かすためにも、地域づくりの基盤となる「人とのつながり」や「地域共生」の基盤づくりが重要となってくると思います。

検討テーマ：『10年後の地域の将来像について』

1.10 年後の地域の将来像の整理

温かい人間関係と活発な地域コミュニティ

住民同士のつながりの強化と地域の支え合い活動を望まれる声が多くあり、困っている人を助け合える優しい町、誰もが交流できる地域が理想とされています。

世代間交流や多文化交流の機会が豊富にあり、子どもから高齢者、移住者、外国人まで、あらゆる人が楽しく交流できる場が増えることが期待されています。

居場所づくりも重要視されており、子どもも大人も集える食堂やサロン、気軽に集まれる場所が増えることが望まれています。

自治会活動の活性化や住民主体の活動により、地域全体で協力し、助け合える体制を築くことが目指されています。

活気ある人口と多様な世代の共存

人口増加、特に若い世代や子どもの増加が強く望まれており、子どもが真ん中の地域、子どもの声がたくさん聞こえる地域が理想とされています。

移住者の受け入れを促進し、地域住民との交流を深めることで、多様な人々が共に暮らす活気ある地域を目指しています。

高齢者が安心して、かつ活動的に暮らせる町も重視されており、高齢になっても活躍できる場や、安心して生活できる環境が求められています。

一度地域を離れた子どもたちが帰ってきたいと思えるような魅力的な地域づくりが期待されています。

利便性の高い生活環境と充実したインフラ

移動手段の確保・充実が重要なテーマであり、コミュニティバスや無料バス、無人バスの運行などにより、高齢者も含め誰もが買い物や通院に困らない交通手段が望まれています。

買い物施設の充実として、スーパーの設置や商店街の復活が挙げられています。

福祉・医療サービスの安定と充実が求められており、特に安心して子育てができる環境や、高齢者が安心して暮らせる医療面への配慮が期待されています。

公園や広場の整備も多く挙げられ、子どもが遊べる場所、多世代が憩える場所としての機能が期待されています。また、公共施設のバリアフリー化も望まれています。

経済の活性化と雇用の創出

働く場所の確保は若者の定住や人口増加に不可欠と認識されており、企業誘致や地域産業の振興が期待されています。

地域経済の活性化として、FC 今治の J1 昇格による賑わい、マルシェの開催、新都市を中心とした活性化などが挙げられています。

農業の継承や農作物の振興、耕作放棄地の活用による体験農業なども将来像として描かれています。

安心・安全で美しいまちづくり

南海トラフなどの災害に備え、お互いが助け合える関係性や津波避難場所の整備などが望まれています。

地域の安全・治安の維持と向上も重要な要素として、安心して暮らせる街、セキュリティが充実した街が目指されています。

自然環境の維持・整備と美化に対する意識も高く、今の風景の維持、緑豊かな里山の維持、美しい街づくりが期待されています。

空き家や耕作放棄地の問題解決も将来像に含まれ、空き家の減少や活用による地域活性化が期待されています。

2.10 年後の地域の将来像の傾向分析

現在、今治市が抱える様々な課題（人口減少、コミュニティの希薄化、生活インフラの脆弱化など）に対する住民自身の具体的な希望と解決策が将来像として反映していると思われます。「人々のつながり」と「地域共生」を基盤とし、それらを支える形で生活環境や経済の活性化、安全・安心なまちづくりを進めていこうとする包括的なビジョンが強く表れています。

検討テーマ：『自分たちにできることについて』

1.自分たちにできることの整理

積極的なコミュニケーションと人間関係の構築

挨拶や声かけを日常的に行うことが最も多く挙げられました。積極的に声をかけ、顔見知りになることで、安心して話せる関係性を築き、支え合いの輪を広げることが重視されています。

近所の人との井戸端会議や雑談を通じて、情報交換や安否確認を行うことも重要視されています。

移住者や海外からの就労者に対しても、挨拶や会話を通じて地域住民として受け入れ、仲間になっていく努力が挙げられています。

困っている人を見かけた際には、積極的に声をかけ、相談に乗る姿勢が示されています。

地域活動への積極的な参加と貢献

地域行事、会合、イベントへの参加を継続し、地域コミュニティを支えることが強く意識されています。

スタッフや役員として運営に携わること（例：自治会長になる、担い手になる）や、周囲の人を誘って参加者を増やす努力も含まれます。

FC 今治の応援を通じて地域を盛り上げる活動も具体的な例として挙げられています。

文化祭や祭りなどの伝統行事の伝承に努め、子どもや若い世代に教える活動も重視されています。

地域の環境美化と安全の確保

自宅の周囲や地域の清掃活動（溝掃除、草引き、ゴミ拾い、水路・道路の美化など）に積極的に参加し、美しい町づくりに貢献することが挙げられています。

子どもたちの通学時の見守りや交通安全の声かけ、危険な状況への注意喚起など、地域全体の安全確保に協力する意識が示されています。

自宅の点検や水田の管理など、自身の持ち物や土地の適切な管理も含まれます。

自己の健康維持と自立

心身の健康を維持し、元気に自立した生活を送ることの重要性が認識されています。

これは「人の世話にならない自分を作る」という意識にもつながっています。

ラジオ体操やウォーキングなどの日々の体力づくりに励むことが具体例として挙げられました。

情報発信・地域資源のアピール

地域の良いところや魅力を SNS や口コミ、写真などを通じて積極的に発信することが推奨されています。

移動販売の情報や福祉に関する情報など、役立つ情報を地域住民に伝える役割も期待されています。

地域教材で地元の強みを学ぶなど、地域への理解を深める努力も含まれます。

多世代交流と困りごとのサポート

子どもから高齢者まで様々な世代が共に活動し、交流する機会を増やすことが重視されています。

独居高齢者への買い物サポートや話し相手、ゴミ出しの手伝いなど、具体的な困りごとへの支援を「お互い様」の気持ちで行うことが提案されています。

介護予防に関する情報収集や、発達障害に関する相談啓発など、福祉に関する理解を深め、支え合いの輪を広げることが挙げられています。

2.自分たちにできることについての傾向分析

自分たちにできることとして、住民の方からは、地域を良くするために、まず個人の意識と行動を見直し、身近なところから変化を起こそうとしていることが伺えます。

また地域とのつながり、他者を認め合い・尊重するなど、住民自身が維持・強化していこうとする姿勢が見られました。

検討テーマ：『地域でできることについて』

1.地域でできることの整理

積極的なコミュニケーションと交流の促進

月に一度程度の食事会や料理教室、お茶会、飲み会を開催し、会話や話し合いの場を設けることが重視されています。

井戸端会議を継続し、お互いの安否確認や支え合いを行うこと。

日常的な挨拶や声かけを励行し、住民同士の顔見知り関係を築き、交流を促す。

ミニ集会などを通じて隣近所で仲良く暮らすための機会を増やす。

新しく地域に入ってきた移住者や組に入っていない住民にも積極的に声をかけ、活動に誘う。

名札を着用するなど、交流の場で互いを認識しやすい工夫も挙げられています。

地域活動・行事への積極的な参加と活性化

地域の伝統行事（祭り、獅子舞など）や文化活動（獅子保存会、昔遊び）を継続し、子どもや若い世代に伝承することの重要性が強く意識されています。

地域行事、会合、イベント（運動会、文化祭など）への参加を促し、活動自体を継続する努力が求められています。

単に参加するだけでなく、スタッフや役員（自治会長、担い手）として運営に携わること、周囲を誘い参加者を増やすことが強調されています。

行事の日程や内容を従来のやり方に固執せず、ライフスタイルに合わせた負担軽減策や、「今」に合わせたニーズへの対応が提案されています。

FC 今治の応援やビーチクリーン活動など、地域を盛り上げ、環境を美化する活動への参加も挙げられています。

多世代・多様な住民との交流・共生

サロン活動を積極的に利用し、誰もが気軽に集える場を増やしたいとの意見が多くあります。

老人クラブやPTA、保育園、学生など、様々な世代が共に活動し、交流する機会を増やすことが重要視されています。

子どもたちとの田植え体験や郷土料理の伝承、地域行事への参加を通じて、三世代交流を深める活動が挙げられています。

海外からの就労者や移住者との多文化交流の機会を設け、生活マナーの伝承や防災訓練を共同で行うことが提案されています。

子育て世帯や高齢者、障がい者が集える居場所づくりや、地域での支え合いの仕組みづくり（お互い様の精神）が重視されています。

地域の環境美化と安全の確保

自宅の周囲や地域全体の清掃活動（公園の除草、水路掃除、草引き、ゴミ拾いなど）に積極的に参加し、美しい町づくりに貢献する意識が示されています。

子どもたちの通学時の見守りや交通安全の声かけ、災害への備え（声かけ）など、地域全体の安全確保に協力する意識が示されています。

地域全体での災害訓練を年に数回行い、住民の防災意識を高め、交流の機会とすることも提案されています。

情報発信・共有と地域資源の活用

地域のイベントや活動情報を、世代に合ったツール（SNS、広報、ポスターなど）で積極的に発信することが求められています。

地域の良いところや魅力（おすすめスポット、歴史文化）を動画や写真、口コミなどでアピールし、地域への関心を高める。

空き家や公民館・集会所などの公共施設をサロンやイベントの場として積極的に活用し、整備することが提案されています。

困りごとのサポートと福祉の充実

独居高齢者や要介助者を抱える家庭への手助け（買い物サポート、話し相手、ゴミ出しの手伝い、訪問、見守り）を「お互い様」の気持ちで行うことが提案されています。

子ども食堂や大人食堂の設立・継続により、食事を通じた交流と支援を行う。

福祉についての知識を深める機会を設け、障がい者支援の活動グループへの参加を促す。

乗り合いバスやタクシーなど、移動手段の利用を促進し、より利用しやすい工夫を考える。

2.地域でできることについての傾向分析

少子高齢化と人口減少によって生じた「つながりの希薄化」や「地域活動の維持困難」といった課題に対し、住民自身が主体的に「関わり、支え合い、楽しみを共有する」ことで、持続可能で活気ある地域を維持・再構築を目指しています。「移動手段の確保」と「人とのつながり」は、多くの住民が「できること」としても「課題」としても認識しており、これらの解決が地域づくりのカギとなると考えます。

検討テーマ：『今治市全域における「取り組みたい事項」について』

1.今治市全域における「取り組みたい事項」の整理

交通・移動手段の充実と確保

コミュニティバスや乗り合いバス「mobi」の運行・利用しやすい工夫、および移動手段全体の充実と確保が強く要望されています。

特に免許返納後の移動手段や、高齢者や要介助者のための無料買い物・通院サポート（タクシー利用、補助金）、介護タクシーの確保が挙げられています。

橋の通行料の見直しや補助制度の確立も提案されています。

地域活性化と魅力向上

地域のイベントを盛んに行い、パンフレットや SNS、広報誌などを活用して地域をアピールすることが重視されています。

FC 今治の応援や企業とのコラボレーションを通じて地域を盛り上げる。

資料館や地域おこし協力隊の導入、今治地域のブランド化、歴史文化遺産の周知など、地域資源の活用も期待されています。

商店街の活性化や、マルシェの開催、テーマパークや音楽会といった大規模・多様なイベントの企画も提案されています。

婚活イベントの開催や広報でのアピールを通じて、出会いの場を創出することも挙げられています。

子育て・教育・若者支援

ボール遊びが自由にできる広場や公園の設置・整備（芝生化、駐車場付き）が要望されています。

小学校の授業に地域の大人が参加する機会を設けることや、地域の人々に関わる授業の増加、児童館や保育園のさらなる充実。

子育て政策への注力や、出産祝い金などの市の補助金の充実、子育て世代転入者への助成が求められています。

子ども食堂の継続や、子どもサミットの開催も提案されています。

高齢者・福祉支援

デイサービスやグループホームなどの福祉サービスの充実が要望されています。

高齢者や元気な方が働ける場所の確保や、ボランティアを活用した生活支援制度、見守りボランティアの増加が提案されています。

認知症・障害者サポーターの養成、ケアマネ・ソーシャルワーカーの増員、生活支援センターの増設など、専門職の充実も挙げられています。

福祉の体験会や介護教室の開催を通じて、住民の意識向上を図ることも提案されています。

地域コミュニティ・交流の促進

各種の講座・講演会の開催による活動人材の育成。

老人クラブ、婦人会、PTA、学生など、多様な世代・団体が交流できる場や機会の増加。

外国人主体の地域イベントや日本語カフェを通じて、海外からの就労者や移住者との交流を深める。

座談会のような会を増やす、親子料理教室、多世代が遊べる場など、気軽に集まれる機会が求められています。

自治会への加入メリットの増加や、地域組織間の横のつながりの強化も挙げられています。

地域資源の活用と環境整備

空き家・空き地の整備と活用（サロン、移住者向け住宅、店舗、イベント会場）が多く提案されています。

公民館のリニューアルやバリアフリー化を通じた集会所の活用。

道路の整備、カーブミラー、路側帯、街灯の設置、走りやすい道路の確保。

イノシシ駆除や耕作放棄地の解消、荒れた道や畑、危険家屋の整備。

花壇の整備や花いっぱい運動による美しい町づくり。

情報発信・共有と行政支援

一斉案内ができるソフトやアプリシステム（サイボウズキントーンなど）の構築や、75歳以上へのタブレット無料配布など、情報ツールの導入と活用が求められています。

活動やイベントに対する補助金の拡充と、申請手続きの簡素化が繰り返し要望されています。

市の広報誌やSNSでの情報発信の工夫。

市民の方と行政との話し合いの機会をつくり、担当者と気軽に話ができる関係づくりを期待されています。

2.今治市域での取り組みについての傾向分析

少子高齢化と人口減少が引き起こす「移動の困難さ」「人とのつながりの希薄化」「地域活動の衰退」といった複合的な課題に対し、市民と行政が連携し、既存資源を最大限に活用しながら、多世代・多様な人々が支え合い、楽しみを共有できる「持続可能で活気ある地域社会」を再構築も考えられているように思います。「移動手段」と「人とのつながり」は、特に改善を望んでいる要素となっています。

まとめ

今治市では、人口減少、少子高齢化、それに伴う地域コミュニティの希薄化、移動手段の課題、地域活動の担い手不足といった複合的な課題に直面しています。「移動手段に困る」「交通の便が悪い」という声は共通して多く、生活基盤の維持が喫緊の課題であることがうかがえます。また、「空き家・空き地の増加」や「商店街の衰退」も課題です。

一方で、今治市には「温かさを感じられる人間味ある人々のつながり」や「助け合いの精神」、「豊かな自然環境」、「歴史文化遺産」、「造船業などの大企業」といった多くの強みがあります。また活発な地域イベントも地域の強みとして挙げられています。

住民が目指す将来像は、「誰もが安心して楽しく暮らせる地域」であり、「生活の足の確保」、「多世代・外国人との交流」、「困っている人と助け合える関係性」、そして「若者が活躍し、子どもの声が響く、持続可能な地域社会」などが示されています。

これらの課題、強み、そして将来像を踏まえ、①生活の「足」と「場」の確保による安心な暮らしの実現、②多様な「つながり」を育む多世代・多文化共生の推進、③地域資源を活かした魅力向上と経済活性化、④持続可能な地域活動の支援と担い手育成、⑤市民の方と行政、社協の連携強化と情報共有を促進することが重要であると考えます。

直面する課題は多岐にわたりますが、地域の持つ豊かな自然、歴史、人と人のつながりという強みを最大限に活かすことで、持続可能で活気ある地域社会を再構築できると思います。これらを実現していくために、市民の方の主体的な参加と様々な関係機関(行政、社協、地域団体、企業、学校、個人など)の連携が不可欠です。座談会で示された「自分たちにできる事」にあるように、「挨拶や声かけを続ける」「地域行事に参加する」「健康でいる」といった一人ひとりの主体的な行動から広げていけたらと思います。